

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第58期第3四半期報告書“ANA VISION”をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当第3四半期におきましても国内線旅客、国際線旅客、貨物郵便の3事業とも増収となり、連結対象外となったホテル事業の利益を上回る増益を航空運送事業で計上することができました。

また、成田国際空港・東京国際空港（羽田空港）の発着枠拡大が2010年に確定したことや航空機燃料費の歴史的な高水準の継続など、弊社を取り巻く環境の変化を踏まえ、ANAグループ2008～2011年度中期経営戦略を策定・発表致しました。

この中期経営戦略の目指すものは、経営ビジョン「アジアNo.1エアライン」の実現と、それを将来にわたって継続する強固な経営基盤の確立です。従来のビジネスモデルの延長で事業規模を拡大するのではなく、航空運送ビジネスの「イノベーション」が将来にわたる利益成長の鍵だと考えています。

安全運航を堅持し、世界の人々に夢と感動をお届けすべく常に挑戦し続けてまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2008年3月



代表取締役社長

山元 肇生